

2024.12.12

鳥取工業高校で出前講座を開催しました

令和6年度 鳥取工業高校 出前講座 計画書

- 講座名 インフラの維持管理
- 目的 橋梁点検の実習を通じて、建設業への関心を高める
- 日時 令和6年12月12日(木)5.6限 13:10~14:50
- 対象者 鳥取県立鳥取工業高校 建設工学科 3年生 18人
- 場所 講義 県立鳥取工業高校 教室
実習 県道卯垣正連寺線 邑法高架橋(おうほう こうかきょう)
- 主催 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会(事務局:公益財団法人鳥取県建設技術センター)
- 計画・実施 鳥取県コンクリート診断士会
- その他 生徒にクラックスケールをプレゼント(鳥取県コンクリート診断士会より)

日 程 表

実習科目	時間	講師
○講義 ・インフラ維持管理の基礎 ・橋梁点検実習の説明	13:10~13:35	鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社 山陰都市開発研究所)
(実習現場へ移動 : 生徒は作業着とヘルメット着用のこと)		
○体験実習(3班集体) ①地上からのコンクリート調査 ・RCレーダーによる鉄筋探査 ・シュミットハンマーによるコンクリート強度推定	13:55~14:30 (各11分)	①鳥取県コンクリート診断士会 (アサヒコンサルタント株式会社)
②地上からのコンクリート調査 ・クラックスケールによるひび割れ幅測定 ・コンクリートの打音調査(不良コンクリート片)		②鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社 山陰都市開発研究所)
③高所作業車によるコンクリート調査 ・コンクリートの打音調査 ・鋼橋桁の板厚測定		③鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社 サンクリエイト)
○質疑 ○終了 あいさつ、記念撮影	14:30~14:35	
(学校へバスで移動 学校へ出発14:35)		

実習場所位置図(県道卯垣正連寺線 邑法高架橋)



実習場所 現況写真



実習科目 配置図

側面図



正面図



実習状況



鳥取県立鳥取工業高校 校舎全景



田中講師による講義
(インフラ維持管理の基礎)



講義風景



高所作業車によるコンクリート調査



高所作業車によるコンクリート調査



コンクリート調査
(RCLレーダーによる鉄筋探査の説明)



コンクリート調査
(RCレーダーによる鉄筋探査)



コンクリート調査
(シュミットハンマーの説明)



コンクリート調査
(クラックスケールや点検ハンマーの説明)



コンクリート調査
(クラックスケールによるひび割れ幅測定)



コンクリート調査
(空洞のある不良コンクリート塊の打音調査)



生徒代表から講師へお礼のあいさつ

鳥工生が橋梁調査

担い手連携協

県建設分野担い手確保
・育成連携協議会(河田
英明会長)は12日、県立
鳥取工業高等学校の生徒
を対象にインフラ維持管
理についての出前講座を
開き、生徒が橋梁のコン
クリート調査方法を体験
した。

出前講座はアサヒコン
サルタント、山陰都市開
発研究所、サンクリエ
イトに所属する診断士会
員が講師を務め、座学と実



習で構成。同校建設工
学科3年生18人がイン
フラの維持管理に関す
る基礎講義を受けたあ
と、県道卯垣正蓮寺線
・邑法高架橋に移動し、

3班集体で実地指導
を受けた。

地上ではRCレ
ダーによる鉄筋探査
やひび割れ幅測定、
シュミットハンマー
でのコンクリート強
度推定などを体験。
さらに高所作業車に
乗り込み、コンクリ
ートの打音調査に手
を動かした。体験終
了後、生徒代表は「学
校で体験できないこと
を体験でき良かった。
この経験を活かして仕
事もがんばっていき
たい」とお礼を述べた。